

第7回同志社

Recitation & Speech Contest

立石杯

英語大会

日時 2018年
2月12日(月・祝)
12:00開会

会場
同志社大学 今出川校地
良心館地下2番教室

主催 学校法人同志社

参加資格
同志社法人内の小学生・中学生・高校生、新島学園及びヴォーリス学園の中学生・高校生を対象。
過去の当大会で、最優秀賞を受賞したことのない者。
なお、同志社国際学院国際部の生徒は大会出場時の学年で応募すること。

発表部門
小学生の部
中学生の部 **Recitation Section(暗唱の部)** D部門 Domestic Division
Speech Section(スピーチの部) I部門 International Division
高校生の部 **Speech Section(スピーチの部)**
D部門 Domestic Division & I部門 International Division
※部門の区分
I部門 ①満6歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヵ月以上、英語圏*に居住した者
②海外での居住地が英語圏以外であっても、6ヵ月以上、現地のインターナショナル・スクール
やアメリカン・スクールに在籍した者
*主に英語を使用する国・地域(英語圏)については、外務省ホームページ
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>)で確認すること
D部門 I部門以外のものが対象

発表内容
◎小学生の部は指定文章とする。2分以上3分以内の長さとする。
◎中学生の部、高校生の部については、各部門ともにテーマは設けない。
発表するタイトルは各自自由設定とする。
なお、Recitation は未発表の題材を使用するものに限る。
Speechは自作、未発表のものに限る。
Recitation、Speechともに4分以上5分以内の長さとする。
◎各sectionで使用する言語は英語とする。
◎他者の文章・記事、WEBサイトなどを参考にした場合、もしくは引用した場合、その
出典を明示すること。

出場者数
同志社法人内の各学校から小学生の部3名以内、中学生の部3名以内、高校生の部
3名以内、新島学園及びヴォーリス学園から中学生の部1名、高校生の部1名が
出場。
なお、中学生の部、高校生の部においてはD部門・I部門ごとの制限を設けない。

応募方法
同志社法人内の各学校は応募資料を各学校運営委員まで提出
新島学園、ヴォーリス学園は応募資料を各学校担当教諭まで提出
運営委員
出田 涼子 (同志社中学校・高等学校教諭) Thomas STERLING (同志社国際中学校・高等学校教諭)
反田 任 (同志社中学校・高等学校教諭) 中川 好幸 (同志社小学校教諭)
板東 敬子 (同志社香里中学校・高等学校教諭) 振本ありさ (同志社小学校教諭)
瀬尾 治興 (同志社香里中学校・高等学校教諭) 青田 忍 (同志社国際学院教諭)
伊藤 芽衣 (同志社女子中学校・高等学校教諭) Scott HEMPHILL (同志社国際学院教諭)
長谷川晃仁 (同志社女子中学校・高等学校教諭) 吉田由紀雄 (学校法人同志社法人事務部長)
Devin JIMMINK (同志社国際中学校・高等学校教諭)

応募資料
①所定の応募用紙 ※応募資料の詳細はホームページを参照してください。
②英文の発表原稿 http://www.doshisha.ed.jp/information/english_contest-7.html

応募期間
2017年10月23日(月)から2017年12月15日(金)16時まで

アクセス

◎京都市営地下鉄
今出川駅下車①番出口より徒歩1分
◎京阪電車
出町柳駅下車 徒歩15分
※キャンパスに駐車場はございません。
どなたでもお気軽に
ご来聴ください

同志社は、新島襄による1875年の創立以来、建学の精神の一つに「国際主義」を掲げ、良心を手腕に運用し国際社会で活躍する人物の養成に努めてきました。同志社法人内中学校・高等学校では、立石信雄氏からの寄付金(立石ファンド)を基に特色ある国際主義教育を展開し、英語能力の向上を図るとともに国際感覚豊かで国際社会に貢献できる生徒の育成を目的として、各種プログラムを実施しています。

そのプログラムの一貫として、第7回目となる英語大会を開催いたします。英語はそれを習得すること自体が目的ではなく、あくまで意思を伝えるための手段です。他者の前で発表を行うことを通じて、相手に理解してもらえる、実践的な英語力の向上を目指します。

今年度も、法人内という枠を超え、新島学園とヴォーリズ学園にもご参加いただきます。教育環境の異なる生徒同士が競い合い、お互いが刺激されることにより、少しでも英語に興味を持つ生徒が増えることを期待しています。さらに、昨年度より幼稚園・小学校・国際学院にも立石ファンドによる事業が広がったことから、本大会に小学校、国際学院初等部・国際部からも出場し、幼稚園からも発表を行う運びとなりました。初等教育段階から英語能力を高める契機となることを期待しています。

より多くの皆さんがこの大会に参加されることを願っています。

Opening Ceremony

開 会
礼 拝(聖書朗読ならびに祈祷)
総長挨拶
大会説明・審査委員紹介

Part 1

小学生の部
中学生の部 Recitation Section(暗唱の部)
D部門 Domestic Division
中学生の部 Speech Section(スピーチの部)
I部門 International Division

Ceremony

小学生の部講評及び表彰(奨励)／幼稚園児による発表

Judging Time 審査委員会

Part 2

高校生の部 Speech Section(スピーチの部)
D部門 Domestic Division
I部門 International Division

Judging Time 審査委員会

Closing Ceremony

表 彰 式(表彰及び講評)
閉 会

中学生の部 Recitation Section(暗唱の部)

Presentation, Pronunciation and Intonation, Memorization, Time Limit

中学生・高校生の部 Speech Section(スピーチの部)

Presentation, Pronunciation and Intonation, Content, Time Limit

※小学生の部においては、審査は行わない。

Bruce WHITE (同志社大学 国際教育インスティテュート 教授)

河原 大輔 (同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 助教)

崎 ミチ・アン (同志社女子大学 表象文化学部 助教)

小学生の部 賞状と副賞(盾)

中学生の部・高校生の部

最優秀賞(立石賞):立石杯授与 賞状と副賞(海外留学奨励金10万円)

優 秀 賞:各部門1名 賞状と副賞(海外留学奨励金5万円)

優 良 賞:各部門1名 賞状と副賞(海外留学奨励金3万円)

参 加 賞:上記以外参加者全員 記念品など(図書カード5千円分/同志社グッズ)

※立石賞は、高校生の部を対象として選考します。また、立石杯には、リボンに受賞者の学校・学年・氏名を記名のうえ、各学校において1年間保管します。

※ホームページで入賞者及び入賞作品を発表します。